

5-2 外壁 改修工事 モルタル 塗り 仕上げ 外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う（・全面 ※図示の範囲） ・行わない [4.1.4] [4.2.2] [4.4.5、6]																																																										
	2 ひび割れ部改修 工法	<table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満</td> <td>・50～100 ・100～200</td> <td>※40 ※70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>・150～250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 注入状況の確認方法 ※コア抜きを行う 採取り回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 採取り部の補修方法 ・図示 ・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す</p> <p>・リカットシール材充填工法 材料 ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	・50～100 ・100～200	※40 ※70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	※130																																										
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	・50～100 ・100～200	※40 ※70																																																									
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	※130																																																									
3 欠損部改修工事	・充填工法 材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.10]																																																										
4 浮き部改修工法	・モルタル塗替え工法 ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調査材料 既製目地材 ・使用する (形状 ・図示) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の取置 ※図示	[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">7ホーピンの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 ・ 充填工法 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調査材料 ・使用する (形状 ・図示) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の取置 ※図示</p>	工法の種類	7ホーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	
工法の種類	7ホーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																							
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																								
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																							
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																							
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																							
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																							
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																							
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																							
・充填工法	—	—	—	—	—																																																							
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																							

5-3 外壁 改修工事 タイル 張り 仕上げ 外壁	3 欠損部改修工法	[4.1.4] [4.2.2]																																																										
	<p>・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 張り替え用材料 ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系 ・貼り付けモルタル (・現場調査材料 ・既製調査モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) の (ウ) 及び (エ)) ・ タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良種上げ張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による ・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) の (ウ) 及び (エ)) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 ・ シーリングの他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p>	[4.1.4] [4.2.2] [4.4.9～15]																																																										
	4 浮き部改修工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 ・ タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系 ・ ・タイル張替え工法 張り替え用材料 ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系 ・貼り付けモルタル (・現場調査材料 ・既製調査モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.4.21による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) の (ウ) 及び (エ)) ・ タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良種上げ張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による ・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) の (ウ) 及び (エ)) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 ・ シーリングの他事項は、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による</p>	工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)																																																							
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																								
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																							
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																							
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																							
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																							
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																							
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																							
・充填工法	—	—	—	—	—																																																							
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																							
	5 目地改修工法	[4.1.4] [4.5.16]																																																										
	6 タイルの形状、寸法等	[4.2.2]																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本張り ・行う ・行わない</p>	施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍害性	耐滑り性	備考	I類	II類			・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・			
施工箇所	形状/寸法 (mm)			吸水率による区分									うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍害性	耐滑り性	備考																																									
		I類	II類																																																									
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																			
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																			
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																			
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																			

5-4 外壁 改修工事 現場 試験	1 浮き部改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の接着強度の試験	※行う ・行わない [4.4.9] [4.4.10] [4.4.12、13]																				
	<p>1 試験方法 ① 試験箇所は、監督職員の指示により1棟につき1箇所以上かつ合計で3箇所以上選出し引張試験を行う。 ② 注入後7日間以上たってから、モルタル約40mm角又は内径40mmに筒体 (コンクリート) に達するまでコンクリートカッター又はコアカッターで切断し、その面に引張器具 (アタッチメント) を接着し、国土交通省建築研究方式簡易引張り試験機又は日本建築士会上学舎試験機により引張試験を行う。</p> <p>2 確認事項 引張強度試験終了後、次のいずれかであることを確認する。又、試験終了後、試験体の切断が躯体に達するまで行われていたかを確認する。なお、異常が認められた場合は監督職員へ報告し、その指示を受ける。 a コンクリート破壊 b モルタル破壊 c 引張り強度 ①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合 ②注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合 1.2N/mm² [12.2kgf/cm²] 以上 ③アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所 ④注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所 0.6N/mm² [6.1kgf/cm²] 以上 ⑤アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のピン併用エポキシ樹脂注入の箇所 1.2N/mm² [12.2kgf/cm²] 以上</p>																					
	2 浮き部改修工法におけるポリマーセメントスラリー注入後の接着強度の試験	※行う ・行わない																				
	<p>1 試験方法 ① 注入箇所を養生完了後、打診ハンマーを用いて打診する。 ② 上記診断状況により、4～4章1項による国土交通省建築研究方式簡易引張試験機又は日本建築士会上学舎試験機により接着力試験を行う。試験箇所は、監督職員の指示により、1棟につき1箇所以上選び出す。 (1箇所につき3点の試験を行い、その平均値を接着強度とする。)</p> <p>2 確認事項 ① 注入が良好な状態で行われているかを確認する。 ② 接着強度は1.0N/mm² [10.2kgf/cm²] 以上とする。</p>																					
	1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	[4.6.3]																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> <th>加圧力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> <td>・行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・ ()</td> <td>・行う</td> <td>・30～100MPa程度 ・100～250MPa程度</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・ () ・図示</td> <td>・行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示</td> <td>・行う</td> <td>・10～30MPa程度 ・</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	処理範囲	下地の補修	加圧力	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・行う		・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う	・30～100MPa程度 ・100～250MPa程度	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・ () ・図示	・行う		・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示	・行う	・10～30MPa程度 ・	[4.5.2]
工 法	処理範囲	下地の補修	加圧力																			
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・行う																				
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う	・30～100MPa程度 ・100～250MPa程度																			
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・ () ・図示	・行う																				
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示	・行う	・10～30MPa程度 ・																			
	2 下地調整材	※下地調整塗材 (・C-1 ・C-2 ・CM-2) ・ポリマーセメントモルタル																				

5-5 外壁 改修工事 塗り 仕上げ 外壁 (続き)	3 仕上げ塗材仕上げ	建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]																																																						
	<p>※規制対象外 ・ 新規仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材 S i ・可とう形 外装厚塗材 S i ○外装厚塗材 E ・可とう形 外装厚塗材 E</td> <td>・吹壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・砂壁状</td> <td>・吹付け ・ローラー ・さざ波状 ・こて</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装厚塗材 E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け ・ローラー</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材 C ・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け ・ローラー ・こて</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・層層仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>対候性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複層塗材 C E ・可とう複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー</td> <td>※水系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり</td> <td>・耐候性 ※対候系3種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・可とう形改修用仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>対候性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E</td> <td>・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー</td> <td>※水系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり</td> <td>・耐候性 ※対候系3種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・外装厚塗材 S i ・可とう形 外装厚塗材 S i ○外装厚塗材 E ・可とう形 外装厚塗材 E	・吹壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・砂壁状	・吹付け ・ローラー ・さざ波状 ・こて	・適用する	・	・防水形外装厚塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー	・適用する	・	・外装厚塗材 S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・	呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・外装厚塗材 C ・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・ローラー ・こて	・適用する	・	呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	対候性	防火材料	・複層塗材 C E ・可とう複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	※水系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり	・耐候性 ※対候系3種	・	呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	対候性	防火材料	・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	※水系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり	・耐候性 ※対候系3種	・	[4.1.5] [4.6.2]
呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																				
・外装厚塗材 S i ・可とう形 外装厚塗材 S i ○外装厚塗材 E ・可とう形 外装厚塗材 E	・吹壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・砂壁状	・吹付け ・ローラー ・さざ波状 ・こて	・適用する	・																																																				
・防水形外装厚塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー	・適用する	・																																																				
・外装厚塗材 S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・																																																				
呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																				
・外装厚塗材 C ・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・ローラー ・こて	・適用する	・																																																				
呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	対候性	防火材料																																																			
・複層塗材 C E ・可とう複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	※水系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり	・耐候性 ※対候系3種	・																																																			
呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	対候性	防火材料																																																			
・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	※水系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり	・耐候性 ※対候系3種	・																																																			
	4 マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗りEP-G ※B種 ・A種)																																																						
	5 外壁改修数量表	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">寸法等</th> <th rowspan="2">既存仕上げ</th> <th colspan="2">種 名</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>m</td> <td>0.2mm以上 1.0mm以下</td> <td>コンクリート モルタル タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)</td> <td>箇所</td> <td>・100×100×30 ・100×200×30</td> <td>コンクリート モルタル タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>m²</td> <td></td> <td>コンクリート モルタル タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え</td> <td>m²</td> <td></td> <td>コンクリート モルタル タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 法	単 位	寸法等	既存仕上げ	種 名				樹脂注入工法	m	0.2mm以上 1.0mm以下	コンクリート モルタル タイル			充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)	箇所	・100×100×30 ・100×200×30	コンクリート モルタル タイル			アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	m ²		コンクリート モルタル タイル			タイル張替え	m ²		コンクリート モルタル タイル															[4.1.5] [4.7.2.3] [表4.7.1]									
工 法	単 位	寸法等					既存仕上げ	種 名																																																
樹脂注入工法	m	0.2mm以上 1.0mm以下	コンクリート モルタル タイル																																																					
充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)	箇所	・100×100×30 ・100×200×30	コンクリート モルタル タイル																																																					
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	m ²		コンクリート モルタル タイル																																																					
タイル張替え	m ²		コンクリート モルタル タイル																																																					
	6 外壁用塗膜防水材塗り	外壁用塗膜防水材塗り [4.1.5] [4.7.2.3] [表4.7.1]																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">仕上げ形状</th> <th>工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌</td> <td>・さざ波</td> <td>・ローラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁用仕上塗材の対候性 ※JIS A 6905の耐候性I種相当 コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修標準仕様書4章外壁改修工事(コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修)による モルタル面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修標準仕様書4章外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修標準仕様書4章外壁改修工事(塗り仕上げ外壁等改修)による</p>	仕上げ形状		工 法	・凹凸状	・凸部処理	・吹付け	・ゆず肌	・さざ波	・ローラー																																														
仕上げ形状		工 法																																																						
・凹凸状	・凸部処理	・吹付け																																																						
・ゆず肌	・さざ波	・ローラー																																																						

5-3 外壁 改修工事 タイル 張り 仕上げ 外壁	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外装タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ															
	2 ひび割れ部改修 工法	<p>改修箇所 ※既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5、6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満</td> <td>・50～100 ・100～200</td> <td>※40 ※70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>・150～250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 注入状況の確認方法 ※コア抜きを行う 採取り回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 採取り部の補修方法 ・図示 ・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す ・リカットシール材充填工法 材料 ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	・50～100 ・100～200	※40 ※70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	・50～100 ・100～200	※40 ※70														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	※130														

5 設計 者	野津 建築設計事務所 鹿児島県知事登録 第一-4-3 号 〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿8-7248-6 TEL 0994-43-9869 FAX 0994-43-9869	大 臣 登 録 野津 安 徳 一 級 建 築 士 登 録 第 134004 号	法 適 合 確 認
	所 長	担 当	製 図

5-5 外壁 改修工事 塗り 仕上げ 外壁	1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	[4.6.3]																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> <th>加圧力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> <td>・行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・ ()</td> <td>・行う</td> <td>・30～100MPa程度 ・100～250MPa程度</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・ () ・図示</td> <td>・行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示</td> <td>・行う</td> <td>・10～30MPa程度 ・</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	処理範囲	下地の補修	加圧力	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・行う		・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う	・30～100MPa程度 ・100～250MPa程度	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・ () ・図示	・行う		・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示	・行う	・10～30MPa程度 ・	[4.5.2]
工 法	処理範囲	下地の補修	加圧力																			
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・行う																				
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う	・30～100MPa程度 ・100～250MPa程度																			
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・ () ・図示	・行う																				
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示	・行う	・10～30MPa程度 ・																			
	2 下地調整材	※下地調整塗材 (・C-1 ・C-2 ・CM-2) ・ポリマーセメントモルタル																				

設計年月日	令和 8 年 1 月 30 日	図面番号	
工事名称	令和7年度錦江町文化センター非常用発電装置改修工事		
図面名称	建築改修工事特記仕様書 (その3)		

鹿児島県建築改修工事特記仕様書

設計者 野津 建築設計事務所
鹿児島県知事登録 第一-4-3 号
〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿8-7248-6
TEL 0994-43-9869 FAX 0994-43-9869

法適合確認
〇〇〇〇構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認
〇〇〇〇設備設計事務所 ・設備設計 ・設備法適合確認

図面番号
〇 5